学校番号	309

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	オリジナル楽譜等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱（独唱、混声合唱）・器楽（キーボード、ギター、ハンドベル、お箏）・創作・アンサンブル等の分野を幅広く学びます。文化祭での発表もあります。
様々な活動を通して、音楽を表現することの喜びを感じてください。
実技試験の他、ワークシートや平常点で評価をします。

2　学習の到達目標

（１）曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに､創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら､個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
（３）主体的･協働的に音楽の諸活動に取り組み､生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歌唱	「ほたるこい」	a:音やリズム、強弱記号やその他音楽用語について正しく理解できている。 b: 楽譜に書かれていることを基に、譜面に沿った表現が出来ている。 c: 言葉の特性や曲種に応じた発声方法を模索し、積極的に歌唱に取り組んでいる。	ワークシート 実技試験	ワークシート 実技試験 授業観察	ワークシート 授業観察
	合唱	Oh Happy Day	a:音やリズム、休符について正しく読譜できている。 b:歌詞を理解し、その情景を思い浮かべながらイメージを持って歌唱できている。 c:他パートの旋律を聴き、音の重なりや響きを味わうとともに、積極的に歌唱に取り組んでいる。	授業観察 実技試験	ワークシート 授業観察 実技試験	ワークシート
2	器楽	各自選曲	a: 音やリズム、強弱記号やその他音楽用語について正しく理解できている。 b:各楽器の音色に注目し、その音色に合った演奏ができている。 c:各班の発表を聞き、批評をまとめられている。	授業観察 実技試験	ワークシート	授業観察 実技試験
	創作	箏による作曲	a:邦楽特有の音階を正しく理解できている。 b:音階の雰囲気を活かした作曲で、良い音色で演奏ができている。 c:各班の発表を聴き、批評ができている。	ワークシート 授業観察	ワークシート 授業観察 作品発表	ワークシート 授業観察
3	鑑賞	古典派～ロマン派までの作曲家による器楽作品	a:作曲家の人生や作品について正しく理解できている。 b:作品を聴き、楽曲の特徴や効果について言葉で表現できている。 c:興味を持った作品についてその良さや魅力が伝わる発表ができている。	ワークシート グループ発表 授業観察	ワークシート グループ発表	ワークシート グループ発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度